

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

29号
2020
11.27

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/



園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので、
絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



～世界の紅葉ライトアップ! 2020～

11/14(土)～11/29(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後8時閉園(入園は7時半まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時～午後8時開室(入室は7時半まで)

第8回 草花アートボトル展

- 期間: 11月21日(土)～11月29日(日)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 様々な花を特殊乾燥させ自然の雰囲気意識して作った作品を展示

第29回 ポインセチア展

- 期間: 12月1日(火)～12月25日(金)
- 場所: 観覧温室(特別展示室・ジャングル室)
- 内容: ポインセチア約100品種、700鉢を展示。特別展示室で「クリスマス飾り」を展示

第52回 野外彫刻展

- 期間: 12月5日(土)～12月20日(日)
- 場所: 園内各所
- 内容: 京都彫刻家協会員の作品約40点を展示

バラ栽培講習会

- 日時: 12月6日(日) 13:00～15:00 (受付12:30～)
- 場所: 植物園会館2階多目的室
- 内容: 「バラ作りのスタート」 ○定員: 先着60名
- 参加費: 200円(別途、入園料が必要)

アートボトル講習会(9) 募集中!!

- 12/10(木) 経験者の部 10:00～12:00
- 初心者部 13:30～15:30
- ★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員: 各10名
- ★参加費: 3,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込: 往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★お切: 12/8(火) ★会場: 植物園会館2階多目的室

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「副園長のほっこりガイド」

11月29日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!



野外彫刻展小品展

- 期間: 12月12日(土)～12月20日(日)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 室内での彫刻展示

東洋蘭講演相談会

- 日時: 12月13日(日) 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 場所: 植物園会館2階多目的室 ○定員: 先着60名
- 内容: 寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

バラ剪定講習会

- ①1月9日(土) 13:30～15:00 (受付13:00～)
・「ツルバラの剪定」植物園会館2階研修室
- ②1月23日(土) 13:30～15:00 (受付13:00～)
・「四季咲きバラの剪定」植物園会館2階多目的室
※講師: 松尾正晃氏(まつおえんげい)
※定員: ①②とも先着40名
※①②ともばら園で実技があります。



第29回 洋ラン展

- 期間: 1月29日(金)～2月11日(木)
- 場所: 観覧温室(特別展示室)
- 内容: 洋ラン約200鉢を展示(販売あり)



「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!



「植物園ガイド」が植物案内!

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)
* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141で



※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ **フウリンブツソウゲ**

アオイ科。タンザニアのザンジバル島原産。不思議な花形のハイビスカスである。種小名のschizopetalusは「切れ込みがある」の意味で、花卉の姿に由来する。通常、ハイビスカスは一日花だが、本種は何日か開花している。

⑪ **ツクバナ**

ビャクダン科。日本の本州、四国、九州に分布。スギ、ヒノキ、モミなどの根に半寄生する植物。雌雄異株。雌花が熟すと羽根突きの羽根に似た実をつけることが名前の由来。4枚の羽根に見える部分は葉状の細長い苞である。

⑩ **シーマニア・シルウァティカ**

イワタバコ科。ペルー、ボリビアなどの森林に分布。茎頂近くの各葉腋から花柄を伸ばし、赤～オレンジ色のベル形の花を横向きに咲かせる。花の先端は小さく5裂し、やや反り返り、内側は黄色で小さな斑点がある。

⑨ **ノアサガオ**

ヒルガオ科。原種は伊豆七島、紀伊半島などに分布。一年草のアサガオと比べて格段に強健で、十数mもツルを伸ばす。開花期間は長く、霜が降りる11月まで咲き続ける。日差しを遮る「緑のカーテン」として注目されている植物の一つ。

① **イロハモミジ**

ムクロジ科。紅葉がきれいに色づく条件として①十分な日照条件②昼夜の気温の寒暖差③水分の供給などが挙げられる。三方を山で囲まれ、鴨川や桂川の流れる盆地である京都はこうした自然環境に恵まれ、紅葉の名所が多いとされる。

② **ユリオブスデージー**

キク科。南アフリカを中心に分布。岩場や砂丘の斜面に自生する。葉や茎に細毛が生えているので、全体が灰白色に見える。黄色の花を長期間咲かせ、株は大きくなると茎が木質化してさらに大きくなる。暖地では冬越しができる。

③ **シシユズ**

ミカン科。中国原産。名前にユズが付くが、ユズの仲間ではなくブントンの仲間である。果実は大きく約1キロにもなる。その「獅子」のような外観と併せ、中国南部および台湾ではブントンのことを一般に「柚子」と呼ぶことが名前の由来。

④ **サネカズラ**

マツブサ科。関東以西の本州や四国、九州などの山野に分布。果実は光沢があり美しく、おいしそうに見えるが食用には向かない。昔、つるから出る粘液を整髪料として利用していたことから「美男葛(びなんかずら)」との別名もある。

⑤ **コダチダリア**

キク科。メキシコ南部から中米にかけての高地が原産。ダリアの仲間の中では最も草丈が高く、5～6mまで成長することで「木立」の名前が付いた。また、その貫禄ある姿がダリアの王様にも例えられ、「皇帝ダリア」の別名でも呼ばれる。

⑥ **イチゴノキ**

ツツジ科。地中海沿岸からアイルランドに分布。イチゴのような果実をつけることからこの名が付いた。アセビに似た白い壺形の小さな花を晩秋に咲かせる。果実は年を越し翌秋に、緑色から黄、オレンジ、赤へと変化し、晩秋に成熟する。



写真はコチラ！

観覧温室



⑧ **ケイトウ**

ヒユ科。熱帯アジア、インドに分布。古くに中国から渡来したとされる。名前は漢字で「鶏頭」と表記するように、花がニワトリのとさかに似ていることに由来する。花の色は品種によって赤、黄、オレンジ、ピンクなど多様で、形もさまざま。

⑦ **フラグミペディウム・コパチー**

ラン科。南米ペルー奥地、アマゾン川源流域に分布。花径はフラグミペディウム属の中で最も大きく15cmを超え、大輪のカトレヤに匹敵する。2002年に新種として発表され、その後「過去100年で最も素晴らしいランの発見」と評された。